



社会福祉法人フランシスコの町

カトリックの教えを基に
児童の健やかな成長・
自立への貢献目指す



高崎市

住所 高崎市金古町830-3
TEL 027-373-1021
Mail furansisuko@dance.ocn.ne.jp
URL https://www.francisco.or.jp
代表者 齊藤 明美
設立 1949年3月
資本金 4,800万円
従業員 42人

WEBサイト



企業紹介

当施設は児童養護施設です。両親の死別や離別により保護者がいなくなった児童、虐待されている児童、環境上その他の事情のため施設での養育を必要とする2歳から18歳の児童が入所しています。当施設では、昭和24年3月に養護施設として認可されて以来、カトリック(キリスト教)の教えを基盤に据え、「聖フランシスコの愛の精神」にならい、子どもたちの安心・安全のため、健やかな成長と自立のために、日々の養育に努めています。

経緯・背景

当施設は周囲を田畑や木々の緑、小川に囲まれており、自然豊かな環境の中で入所してくる子どもたちを養育しています。近年の気候変動による異常気象、東日本大震災以降の自然エネルギーへの回帰など、目まぐるしく変化する社会の中で、未来を担う子どもたちに自然豊かなこの環境を残し引き継いでいきたい、そして、それが地域社会の皆様への貢献になると考え、取組を始めました。

農業に取り組み環境美化 自然エネルギーの有効活用 DX化で業務効率推進

具体的な取組・成果

- 周辺の耕作放棄地を借受け、水田や畑で米、野菜の栽培に取り組んでいます。また、この取組に伴って土地を整備し、草花の植付けを行うなど、地域環境の美化に努めています。
- 施設で耕作した田畑で収穫される野菜は、有機肥料を使用し、農薬の使用を極力控えるなど、自然環境の保全に努めています。また、残った野菜くず等を発酵・分解し、肥料として用いるなど、環境にやさしい農作物栽培に取り組んでいます。また、施設の子どもたちとともに田植えや稲刈り、野菜の収穫を行うことで、自然環境を大切にする子ども、食物を大切にできる子どもたちの育成に努めています。



協力して野菜を栽培

- 「女性が活躍できる職場」を目指し、産休・育休制度を整備しました。実際、過去3年間に5名の女性職員が産休・育休を取得しています。また、女性職員が主任を務めるなど、女性の積極的な登用に努めています。
- モバイルPCの導入やネットワーク内での文書の作成・記録・通知などによるデジタル化を通して、業務の効率化を推進しています。また、これらの取組によって、従来の紙媒体によるやり取りを大幅に削減するなど、ペーパーレス化にも貢献しています。

- 「環境への配慮、限りある資源を大切に」という観点から太陽光パネルを設置し、そこで得られた電力を施設内に供給しています。この取組を通じて、電力会社からの電力供給を大幅に削減するなど、自然エネルギーの有効活用已成功しています。



発電した電力を施設内で活用

当社にとってのSDGsビジョン

持続可能な社会の実現のため、以下の3点を重点目標として取り組んでまいります。

- 豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐ
- 女性が活躍できる社会の実現
- 自然エネルギーの有効活用

これらの取組を通じて、地域社会の皆様にご貢献できればと考えております。

今後の展望と求めるパートナー像

施設見学に来た方々や実習等で来所した学生さんに施設の取組を紹介し、周知していただくことを通じて、DX、GXに対する理解と協力の輪を広げていきたいと考えています。